



R5. 10. 29 勝坂神楽(天竜区春野町豊岡) 保存会とNPOわたぼうし・ランドデザインの協力で開催

# 遠江・山と里の民俗

会報 第022号

## 無形民俗文化財を継承するということ

浜松市文化財課 課長 平田 隆

新型コロナウイルス感染症は、文化財の保存・継承にも大きな影響を与えました。そのような困難な状況でも、先人たちがつないできた無形民俗文化財を守るために、保存会の皆さまが

地域の方々と一緒に努力を続けられ、令和5年度には多くの活動が再開されました。そこに至るまでの保存会の皆さまのご苦労は、簡単に推し量ることができないものではありません。困難を乗り越え、地域の歴史と文化を守っていくという強い・固い意志に、心から敬服いたします。

文化財は、様々な時代背景の中で人々の生活や風土との関わり合いにおいて生み出され、現在まで守り伝えられてきた貴重な文化・歴史・財産です。その過程で、先人たちは「残すための知恵」を見出してきました。私たちにも後世への確

実な継承が求められています。社会情勢の変化などにより、文化財の保存・継承が難しくなってきた中で「新たな担い手」の確保・育成は喫緊の課題です。

これまでは、自治会や保存会等による「自助」と行政による「公助」により取り組んできましたが、今後は、第三者が関わる「共助」による取り組みも必要です。NPOや企業地域外の方の力を借りる必要もあるでしょう。そのためには、その文化財への理解や共感が得られるかが鍵と言えます。幸いなことに、本市には浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会があります。年々活動が大きくなり、加盟団体も増加していることは、とても心強いものです。また、市内では、新たにNPOによる無形民俗文化財の継承のための継続した支援の取り組みも生まれ、希望を感

じています。文化財課としても、より一層、連絡会と連携して、市内の無形民俗文化財の保存と継承のため、尽力してまいります。

### NPO法人わたぼうし・ランドデザインの紹介

私たちNPOは、市内大学生を中心に「川名のひよんどり」と「勝坂神楽」の継承活動に携わっています。

令和4年3月に法人格を取得し、学生・若者が伝統芸能を継承できるプログラムづくりに取り組んでいます。



# まぼろしの祝祭

—天竜・横山の神遊び—

静岡文化芸術大学 教授

二本松 康宏

浜松市天竜区横山町は、かつて天竜川水運の川湊として繁栄した。川を下る船頭や筏師、木材の買い付けに訪れる材木商、そして遠州と信州を往来する商人たちで街は賑わった。柿板（こけらいた）の加工・販売によって財を築き、天竜の材木王と謳われた青山家の邸宅にも昔日の繁盛が偲ばれる。

天竜川だけではない。天竜・二俣から水窪を経て信州へいたる秋葉街道（信州往還）と、三河の鳳来寺と遠州の秋葉神社とを結ぶ秋葉街道（鳳来寺道）が横山で交わる。鳳来寺道といえは熊から石打の尾根を越えて龍山の西川へ下る往還がよく知られているが、石打の尾根から横山へ下る脇往還もまた「秋葉街道」の一つである。



そうした賑わいと豊かさのなかで、横山八幡神社・熊野権現社には正月の祭礼と芸能が伝えられてきた。江戸時代後期に内山真龍が著した『遠江国風土記伝』によれば、神事は正月元日から10日まで、あるいは2日から15日まで及んだとも記録されている。しかし、明治7年（1874）にその祭礼は忽然と

廃絶してしまった。祭礼の芸能に使用されたと考えられる11枚の面とわずかな祭具だけを残して。

\* \*

令和5年11月、浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会と浜松市文化財課のご協力をいただき、内山真龍資料館に寄託されていた11の面と祭具を静岡文化芸術大学で展示・公開させていただくことになった。もちろんただ展示するだけでは不十分。かつての横山で催されていた正月の神事とはどのようなものだった

のか？明治7年に祭礼が廃絶した背景とは？私たちは、展示を通して横山に伝わった「まぼろしの祝祭(まつり)」の解明に挑んだ。

\* \*

面の学術的考証を担当した宮嶋隆輔氏（静岡文化芸術大学客員研究員）は、横山八幡神社の11の面を近隣の「懐山おくない」「神沢おくない」「西浦田楽」などで使用されている面と比較することで、その用途（演目）を推考した。たとえば、これまで「うそふき」と呼ばれていた面は、実は「鬼神面（吽）」に対して表裏に位置する「もどき」であるという。「寺野ひよんどり」で演じられる「火のう」が解明の手掛かりとなった。鬼神の厳めしさが魔を鎮め、その「もどき」が面白おかしく戯れの笑いを誘う。笑いもまた邪気を祓うのである。

明治元年（1868）に新政府が発した神仏分離令は、まもなく廃仏（はいぶつ）



毀釈（きしゃく）という過激な運動へと展開した。その暴風は北遠にも吹き荒れる。

明治7年、横山八幡神社・熊野権現社に祀られていた仏像が社殿から撤去されることになった。正月の神遊び（田遊び）が廃されたのもこのときである。ところが、今回の展示にあたって調査を進めるなかで、横山の宝珠院の観音堂に祀られる十一面観世音菩薩像が、なんとかつての熊

野権現社の本尊だったことが判明した。明治13年（1880）に記録された『宝珠院明細帳』によれば、明治7年の神仏分離に際して、熊野権現社の本尊である十一面観世音菩薩像を宝珠院に移し、境内に仮堂を建てて奉祀したという。村人たちは、表向きには廃仏に従いながら「古来当村氏神の本地仏」を密かに匿ったのである。

その宝珠院の観音堂では毎年1月5日に法要が営まれる。本来、観音の縁日は18日と決まっている。1月18日は初観音、12月18日ならば納め観音である。観音の法要を1月5日に催すのは、わりと珍しいだろう。宝珠院における1月5日の観音の法要は、おそらくかつての熊野権現社で催されていた正月の祝祭の記憶に違いない。

一方、横山八幡神社・熊野神社の側にもかつての正月の祝祭の記憶は受け継がれていた。八幡神社として

の大祭は8月15日に移ったが、1月7日に執り行われる熊野神社の湯立て神事もまた、おそらくは正月の祝祭の一部を伝えるものだろう。

神と仏の共生を密かに守り伝えてきた横山の人々のしなやかな心意気が、今となっては尊い。

※三遠南信民俗芸能交流として今回、天龍村の国指定重要無形民俗文化財の「坂部の冬祭り」が参加してくれました。

2月には遠州大念仏が下條村に行つて公演をしました。



静岡文化芸術大学で「坂部の冬祭り」を披露

## 「遠州大念仏」について

浜松市小・中学校社会科自由研究審査会  
金賞 北浜南小学校4年生 袴田悠仁



袴田さんは自由研究をはじめたわけを「毎年おぼんの時になると夜にたいこやかねの音がぼくの家まで聞こえてきます」「ぼくは遠州大念仏でまだ知らないことがたくさんあり、もっと知りたいとおもったのでこの研究を始めました」と書き出しています。

研究の方法は「①浜北文化センターの調査②犀ヶ崖資料館の調査③地域の自治会長からの聞き取り調査」があり、その内容は「遠州大念仏の始まり・道行き・衣裳と飾り・大念仏に使用する楽器・双ばんの体験・徳川家康に関する伝説・犀ヶ崖を見て・寺嶋組について・組の分布・インタビュー」が詳細に研究され、手書きのイラストや写真が添えられています。

そのインタビューを受けた寺嶋組保存会の大村会長によると、袴田さんは寺嶋組に参加して、今年のお盆に向けて練習しています。

## 《研究をした感想》（抜粋）

無形民俗文化財をこのまま無くしたくないし、ぼくが生まれたころからずっと見てきた遠州大念仏が無くなってしまふのは非常に悲しいです。この先の未来にも遠州大念仏がずっと残ってほしいと思います。来年からぼくも念仏組へ参加して遠州大念仏を地域のみんなに伝えていきたいと思いました。

## 「遠江・山と里の民俗」の合本

令和5年12月、保護団体連絡会設立時の第1号から10年間の会報、第20号までを100部製本しました。連絡会加盟の各保存会へ配布したほか、市内図書館へ配架し、県立図書館、国立国会図書館へも納本しました。



# 次世代継承活動の紹介

## 懐山のおくない

新たに大石紘明さんを迎え、令和6年1月3日に祭礼を開催しました。大石さんは浜松市天竜区懐山出身で、浜松市立清竜中学校在学時に懐山のおくないの継承活動に参加していました。令和5年4月から浜松山里いきいき応援隊（地域おこし協力隊）の隊員として佐久間地域において活動中です。



## ☆大石紘明さんコメント

今回で懐山のおくないに参加するのは2回目になる。私が初めて参加したのは中学生の時だった。当時は、授業の一環として参加したので、歴史や舞の意味を全く知らなかった。しかし今回は、懐山のおくないを継承していく大事な「1回目」であったため、ただ参加するのではなく一つの衣装や所作の意味を考えながら練習に取り組んだ。  
 まだまだ分からないことが多くあるが、これから懐山のおくないを継承していく上で伝統を大切にしていきたいながらも、楽しみながらやっていきたい。



## 雄踏歌舞伎

夏休み子ども歌舞伎体験教室（約30人参加）  
 1日目は歌舞伎・万人講の歴史の説明、2日目は化粧・衣装の着付け体験、3日目は隈取ぬり絵、おひねり作り体験。体験会参加者から4人が練習に参加し、1月の定期公演に出演しました。

R5. 7/27. 28. 31雄踏文化センター



## 都田小部活動

## 滝沢の放歌踊り

R5. 11/26 北区Deまつり



## 浦川歌舞伎

浦川小学習発表会  
 児童による「白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場」披露

R5. 12/2 浦川小



神澤のおくない  
 清竜中1年生授業  
 継承同好会と市民応援隊による実演披露

R5. 11/16 清竜中



## 川名のひよんどり

井伊谷小3年生授業  
 保存会によるDVD解説と実演披露

R5. 6/23 福満寺薬師堂



寺野のひよんどり  
 引佐北部小5年生授業  
 保存会によるDVD解説と楽器体験

R5. 9/22 引佐北部小